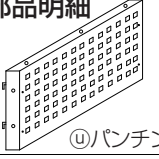
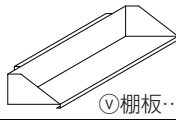
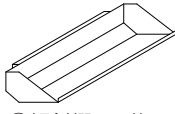
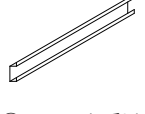


ULRT型 オプション 組立説明図

組み立てる前に梱包内容が全て揃っているか、ご確認ください。万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせ下さい

※組み立て時は、軍手や保護メガネなどの保護具を装着して組み立て下さい。

部品明細  A.パンチングパネル ⑥SW(スプリングワッシャー)…4個 ①キャップボルト(短)…4本 (M5×10) ⑩パンチングパネル…1枚	 B.棚板 ⑥SW(スプリングワッシャー)…4個 ①キャップボルト(短)…4本 (M5×10) ⑨棚板…1枚
 C.傾斜棚 ⑥SW(スプリングワッシャー)…2個 ①キャップボルト(短)…2本 (M5×10) ⑩傾斜棚…1枚	 D.コンテナ受け ⑥SW(スプリングワッシャー)…4個 ①キャップボルト(短)…4本 (M5×10) ⑧コンテナ受け…1本

A.パンチングパネルの取付方法

※片面に2枚以上のパンチングパネルを取り付ける場合は、必ず下から順番に取り付けて下さい。

- 1 組み立てた本体の柱③の長穴に、パンチングパネル⑩の爪4つを合わせて引っ掛け、はめ込んで下さい。
- 2 パンチングパネル⑩に開いている目印穴の隣りの角穴から、六角レンチ④でキャップボルト(短)①とSW⑥を差し込み、しっかり締め付けて下さい(左右各2カ所)。

B.棚板の取付方法

- 1 組み立てた本体の柱③の長穴に、棚板⑨の爪2つを合わせて引っ掛けて下さい。
- 2 棚板⑨の両側の穴から、キャップボルト(短)①とSW⑥を差し込み、六角レンチ④でしっかり締め付けて下さい(左右各2カ所)。

C.傾斜棚の取付方法

- 1 組み立てた本体の柱③の長穴に、傾斜棚⑩の爪2つを合わせて引っ掛けて下さい。
- 2 傾斜棚⑩の両側の穴から、棚を傾斜させて使用する場合は下の、水平で使用する場合は上の穴に、キャップボルト(短)①とSW⑥を差し込み(図では傾斜させる場合)、六角レンチ④でしっかり締め付けて下さい(左右各1カ所)。

D.コンテナ受けの取付方法

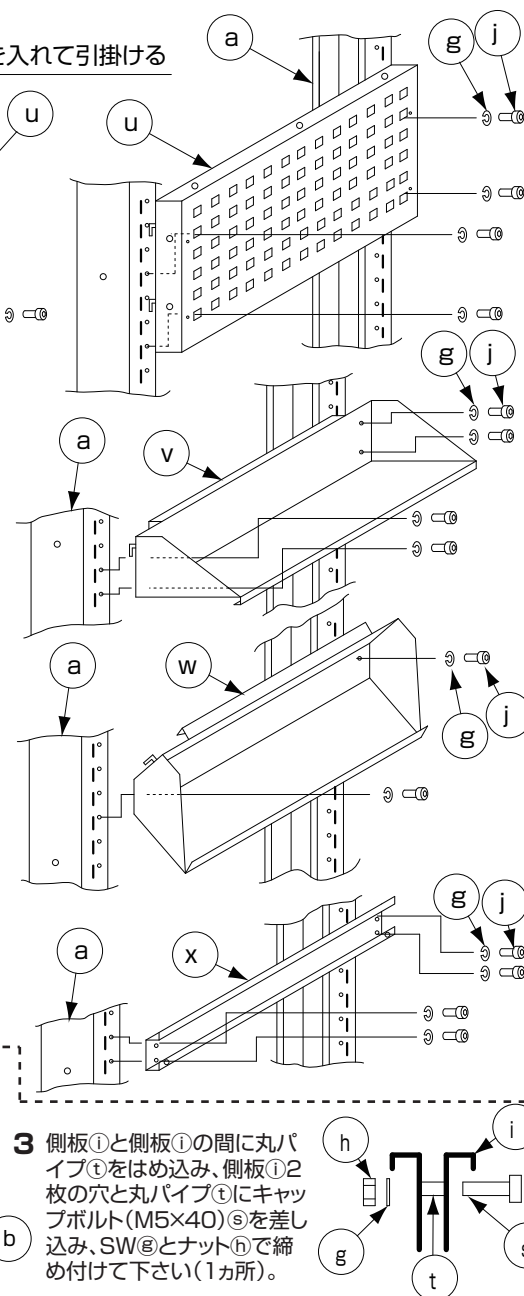
- 1 組み立てた本体の柱③の穴に、コンテナ受け⑧の両側の穴を合わせ、キャップボルト(短)①とSW⑥を差し込み、六角レンチ④でしっかり締め付けて下さい(左右各2カ所)。

連結方法

- 1 連結する側の柱③の横に付いているキャップボルト(長)①、SW⑥とナット⑦を取り外して下さい(各1カ所)。

図は片面用

- 2 2台を引っ付け、1で外したキャップボルト(長)①、SW⑥、ナット⑦を利用して、柱③の上下の穴で連結させて下さい(2カ所)。



仕様

パンチングパネル	寸法(mm)	棚板	寸法(mm)	傾斜棚	寸法(mm)	コンテナ受け	寸法(mm)
LUPR-P450	W900×D25×H450	LUPR-T255	W899×D255×H100	LUPR-KT900	W899×D255×H139	LUPR-C1	W899×D20×H76
LUPR-PL450	W1200×D25×H450	LUPR-TL255	W1199×D255×H100	LUPR-KT1200	W1199×D255×H139	LUPR-CL1	W1199×D20×H76

製造元 **ユニオンスチール株式会社**
〒584-0022 富田林市中野町東2-5-36

電話 (0721)25-4603 番(代)
http://www.unionsteel.co.jp

日本製



取扱説明書

ライン作業台 ULRT型

このたびは、ユニオンスチールのライン作業台ULRT型をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品は、天板を任意の高さに設定できるため座り作業および立作業に対応。また、オプションの種類も豊富で自由な高さに取り付けできるうえ後付けも容易、部品管理に最適ですので、組立ライン作業台として工場・研究室・学校・作業所等で未永くご使用いただけます。

均等静止荷重 50kg

※均等静止荷重とは、天板の表面に均一に荷重をかけた場合に耐えられる重さの合計量をいいます。
※表示荷重内であっても、一部に集中荷重をかけないで下さい。

安全上のご注意 必ずお守り下さい。

お使いになる人や、他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を次の要領で説明しています。

警告 誤った使いかたをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を説明しています。

■ 表示荷重以上の荷重をかけないで下さい。
作業台が破損・変形・転倒し、怪我をする恐れがあります。

■ 側面や正面から大きな力をかけないで下さい。
作業台が破損・変形・転倒し、怪我をする恐れがあります。

■ キャスター付での使用はしないで下さい。
バランスが悪くなり、作業台が転倒したり、積載物が落下して、怪我をする恐れがあります。

■ 不安定な場所に設置しないで下さい。
作業台が転倒したり、積載物が落下したりして、怪我をする恐れがあります。

■ 作業台に足をかけたり、天板の上に乗ったりしないで下さい。
作業台が転倒したり、積載物が落下して、怪我をする恐れがあります。

注意 誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■ 屋外や水のかかる場所に設置せず、また濡れた物を置かないで下さい。
作業台にサビが発生しやすくなり、強度等、品質が著しく低下する恐れがあります。

■ 組み立ては、この組立・取扱説明書に記載の組み立て手順に従って下さい。
手順を誤ると、組立中に部品が外れたり倒れたりして、怪我をする恐れがあります。

■ 作業台の切断、改造をしないで下さい。
作業台が不安定になり危険です。また、切断面のバリ等で怪我をする恐れがあります。

■ 天板面は必ず水平になるよう、アジャスターを調節して下さい。
傾いていると作業台が転倒したり、積載物が落下したりして、怪我をする恐れがあります。

■ オプションの後付け及び組み換えや、天板の高さ変更を行う際は、必ず軍手等保護具を使用して下さい。
隙間に指を挟んだりして、怪我をする恐れがあります。

■ 化学薬品や薬物を扱う作業には使用しないで下さい。
腐食・変質などにより、作業台の品質が著しく低下し、作業者の健康を害する恐れがあります。

■ 表示荷重内であっても、一部に集中荷重をかけないで下さい。

■ 柱や天枠・側板の端面を素手で触らないで下さい。
鋭利な部分に触れて、怪我をする恐れがあります。

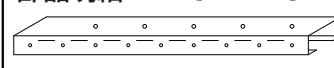
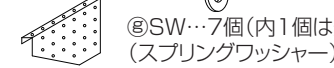
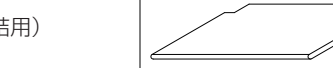

■ ベース止金具や柱止金具を使用のうえ設置して下さい。
地震等での転倒を防ぐ為、必ず床面や壁(片面用)に作業台を固定して下さい。

●本製品を第三者に譲渡、貸し出しする場合、必ずこの説明書を添えてお渡してください。
※この取扱い説明書は、紛失しないよう、大切に保管してください。

ULRT型 片面用ライン作業台 組立説明図

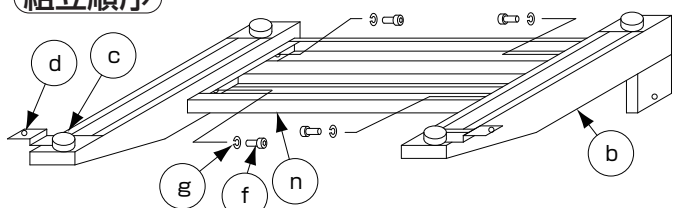
組み立てる前に梱包内容が全て揃っているか、ご確認ください。万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせ下さい。

※組み立て時は、軍手や保護メガネなどの保護具を装着して組み立て下さい。

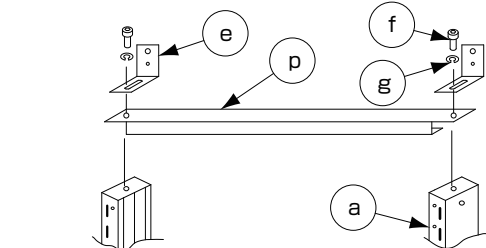
部品明細 1梱包【片面用柱】  ②柱(左右有り)…2本	1梱包【側板セットA】  ③SW…7個(内1個は連結用)(スプリングワッシャー) ①側板…2枚(左右有り)	1梱包【天板セット(A)】  ④上棧…1本 ⑤天板(切込有り)…1枚 ⑦キャップボルト(長)…18本(M5×15)
1梱包【片面ベースセット】  ①キャップボルト(長)…6本(M5×15) ②ベース(左右有り)…2本(アジャスター、ベース止金具付) ③柱止金具…2個	①キャップボルト(短)…6本(M5×10) ②ナット…1個(M5)連結用 ③キャップボルト…1本(M5×40)連結用 ④ナット…2個(M5) ①ナットアンカー…4個(M6, 適合ドリル10.5mm) ①丸パイプ…1本連結用	⑥天枠…1台 ⑧SW…18個(スプリングワッシャー) ⑨下柵…1枚 ⑩幕板…1枚 ⑥六角レンチ…1本(対辺4)

組立順序

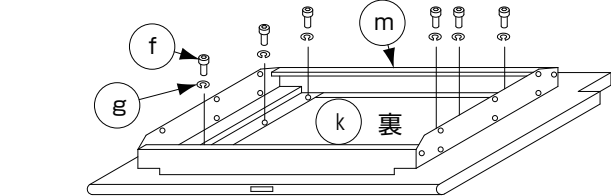
ベース②の左右注意



1 【片面ベースセット】の箱からベース②、【天板セット(A)】の箱から下柵⑨を取り出し、ベース②2本を穴がある方を内側にして裏返しに置き(左右注意)、下柵⑨を裏返して穴をベース②の穴に合わせ、キャップボルト(長)⑦とSW⑧で仮止めして下さい(左右各2カ所)。仮止めたキャップボルト(長)⑦を、六角レンチ④でしっかり締め付けて下さい。

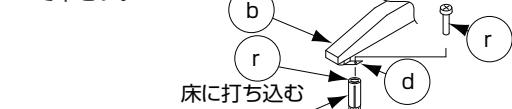


2 【片面用柱】の箱から柱②を取り出し、1で組み立てた物を表に向けて、ベース②の金具に柱②を長穴がある方を前にして図のように差し込み(左右注意)、前後からキャップボルト(長)⑦とSW⑧で仮止めして下さい(2カ所)。柱②の横の外側からキャップボルト(長)⑦を差し込み、内側からSW⑧とナット⑥で仮止めして下さい(1カ所)。反対側の柱②も同様に取り付けして下さい。仮止めたキャップボルト(長)⑦を、六角レンチ④でしっかり締め付けて下さい。



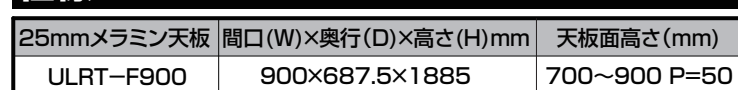
3 【天板セット(A)】の箱から上棧④を取り出し、2で組み立てた柱②の上に上棧④を乗せ(落ちないように注意)、その上に【片面ベースセット】の箱に入っている柱止金具③を図のように乗せて、穴を合わせてキャップボルト(長)⑦とSW⑧で仮止めして下さい(左右各1カ所)。仮止めたキャップボルト(長)⑦を、六角レンチ④でしっかり締め付けて下さい。

4 【側板セットA】の箱から側板①を取り出し、左右に注意して2枚の高さを合わせて図-1のように爪を柱②の長穴に引っ掛けて下さい(左右各2カ所)。



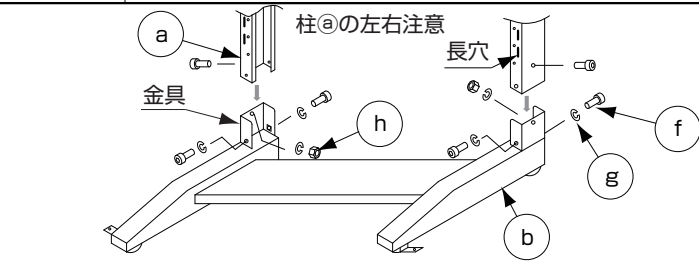
5 【天板セット(A)】の箱から天板(切込有り)⑤と天枠⑥を取り出し、天板(切込有り)⑤を裏返して置き、その上に天枠⑥を裏向けに置いて、天枠⑥の穴と天板⑤のナット位置を合わせ、キャップボルト(長)⑦とSW⑧で仮止めして下さい(6カ所)。

6 5で組み立てた物を表に向けて2枚の側板①の上にスライドさせて乗せ、側板①の穴と天枠⑥の穴を合わせて、外側からキャップボルト(長)⑦を差し込み、内側からSW⑧とナット⑥で仮止めして下さい(左右各3カ所)。

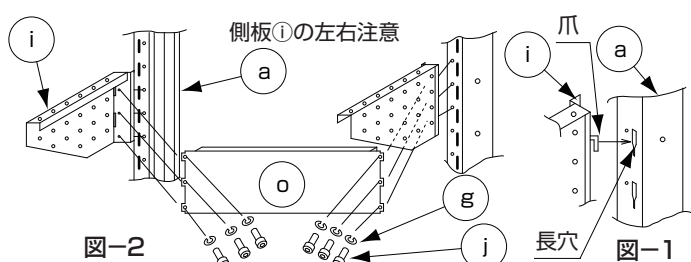


7 仮止めた全てのキャップボルト(長)⑦を、六角レンチ④でしっかり締め付けて下さい。

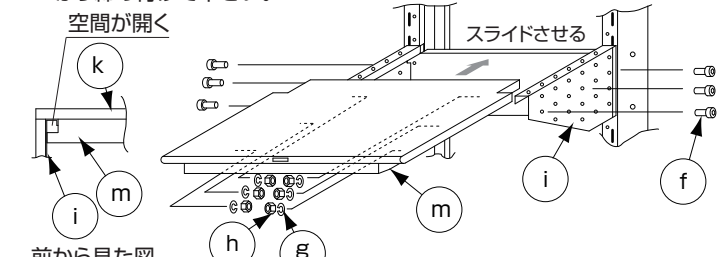
8 組み立てが終わると、アジャスター②で水平調節を行って下さい。そして、【片面ベースセット】の箱からナットアンカー④を取り出して床に打ち込み(下穴径10.5mm、深さ35mm)、ベース止金具③を利用して、床面に固定して下さい(左右各1カ所)。



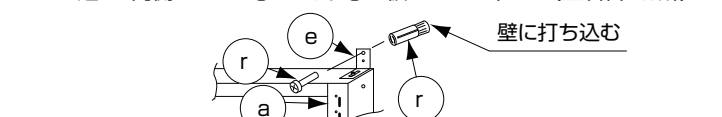
2 【片面用柱】の箱から柱②を取り出し、1で組み立てた物を表に向けて、ベース②の金具に柱②を長穴がある方を前にして図のように差し込み(左右注意)、前後からキャップボルト(長)⑦とSW⑧で仮止めして下さい(2カ所)。柱②の横の外側からキャップボルト(長)⑦を差し込み、内側からSW⑧とナット⑥で仮止めして下さい(1カ所)。反対側の柱②も同様に取り付けして下さい。仮止めたキャップボルト(長)⑦を、六角レンチ④でしっかり締め付けて下さい。



4 【側板セットA】の箱から側板①を取り出し、左右に注意して2枚の高さを合わせて図-1のように爪を柱②の長穴に引っ掛けて下さい(左右各2カ所)。



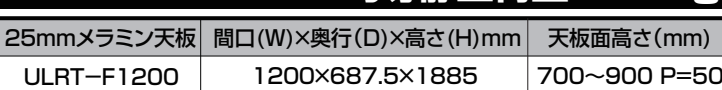
5 5で組み立てた物を表に向けて2枚の側板①の上にスライドさせて乗せ、側板①の穴と天枠⑥の穴を合わせて、外側からキャップボルト(長)⑦を差し込み、内側からSW⑧とナット⑥で仮止めして下さい(左右各3カ所)。



6 5で組み立てた物を表に向けて2枚の側板①の上にスライドさせて乗せ、側板①の穴と天枠⑥の穴を合わせて、外側からキャップボルト(長)⑦を差し込み、内側からSW⑧とナット⑥で仮止めして下さい(左右各3カ所)。

7 仮止めた全てのキャップボルト(長)⑦を、六角レンチ④でしっかり締め付けて下さい。

8 組み立てが終わると、アジャスター②で水平調節を行って下さい。そして、【片面ベースセット】の箱からナットアンカー④を取り出して床に打ち込み(下穴径10.5mm、深さ35mm)、ベース止金具③を利用して、床面に固定して下さい(左右各1カ所)。



9 壁にナットアンカー④を打ち込み(下穴径10.5mm、深さ35mm)、柱止金具③を利用して、壁に固定して下さい(左右各1カ所)。

※2台以上、連結する場合は、裏面の「連結方法」をご覧ください。

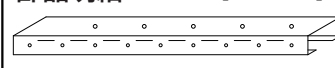

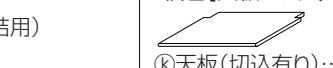

均等静止荷重 50kg

25mmメラミン天板	間口(W)×奥行(D)×高さ(H)mm	天板面高さ(mm)	25mmメラミン天板	間口(W)×奥行(D)×高さ(H)mm	天板面高さ(mm)
ULRT-F900	900×687.5×1885	700~900 P=50	ULRT-F1200	1200×687.5×1885	700~900 P=50

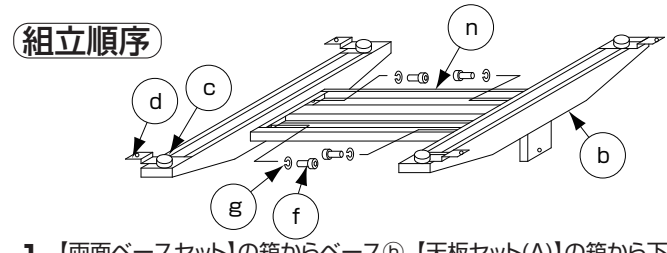
ULRT-W型 両面用ライン作業台 組立説明図

組み立てる前に梱包内容が全て揃っているか、ご確認ください。万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせ下さい。

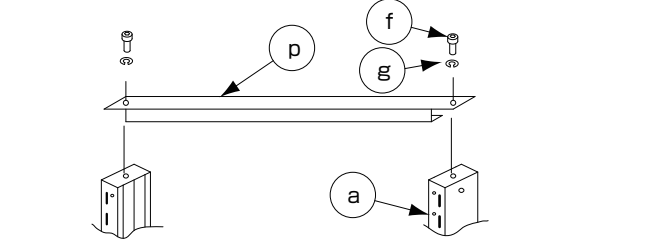
※組み立て時は、軍手や保護メガネなどの保護具を装着して組み立て下さい。

部品明細 1梱包【両面用柱】  ②柱…2本	2梱包【側板セットA】  ③SW…7個(内1個は連結用)(スプリングワッシャー) ①側板…2枚(左右有り)	1梱包【天板セット(A)】  ④上棧…1本 ⑤天板(切込有り)…1枚 ⑦キャップボルト(長)…18本(M5×15)
1梱包【両面ベースセット】  ①キャップボルト(長)…6本(M5×15) ②ベース…2本(アジャスター、ベース止金具付)	①キャップボルト(短)…6本(M5×10) ②ナット…1個(M5)連結用 ③キャップボルト…1本(M5×40)連結用 ④ナット…2個(M5) ①ナットアンカー…4個(M6, 適合ドリル10.5mm) ①丸パイプ…1本連結用	⑥天枠…1台 ⑧SW…18個(スプリングワッシャー) ⑨下柵…1枚 ⑩幕板…1枚 ⑥六角レンチ…1本(対辺4)

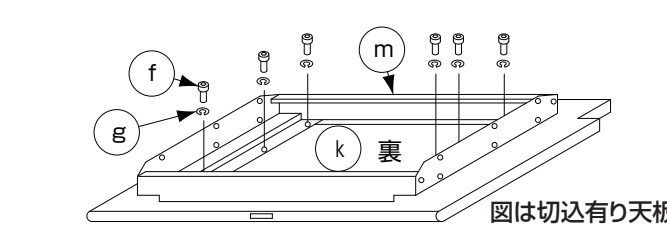
組立順序



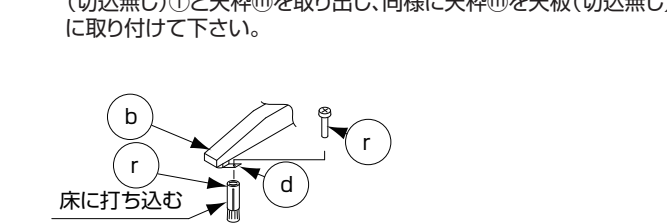
1 【両面ベースセット】の箱からベース②、【天板セット(A)】の箱から下柵⑨を取り出し、ベース②2本を穴がある方を内側にして裏返しに置き、下柵⑨を裏返して穴をベース②の穴に合わせ、キャップボルト(長)⑦とSW⑧で仮止めして下さい(左右各2カ所)。仮止めたキャップボルト(長)⑦を、六角レンチ④でしっかり締め付けて下さい。



2 【両面用柱】の箱から柱②を取り出し、1で組み立てた物を表に向けて、ベース②の金具に柱②を図のように差し込み、前後からキャップボルト(長)⑦とSW⑧で仮止めして下さい(2カ所)。柱②の横の外側からキャップボルト(長)⑦を差し込み、内側からSW⑧とナット⑥で仮止めして下さい(1カ所)。反対側の柱②も同様に取り付けして下さい。仮止めたキャップボルト(長)⑦を、六角レンチ④でしっかり締め付けて下さい。



3 【天板セット(A)】の箱から上棧④を取り出し、2で組み立てた柱②の上に上棧④を乗せ(落ちないように注意)、穴を合わせてキャップボルト(長)⑦とSW⑧で仮止めして下さい(左右各1カ所)。仮止めたキャップボルト(長)⑦を、六角レンチ④でしっかり締め付けて下さい。



4 【側板セットA】の箱から側板①を取り出し、左右に注意して2枚の高さを合わせて図-1のように爪を柱②の長穴に引っ掛けて下さい(左右各2カ所)。



5 【天板セット(A)】の箱から天板(切込有り)⑤と天枠⑥を取り出し、天板(切込有り)⑤を裏返して置き、その上に天枠⑥を裏向けに置いて、天枠⑥の穴と天板⑤のナット位置を合わせ、キャップボルト(長)⑦とSW⑧で仮止めして下さい(6カ所)。

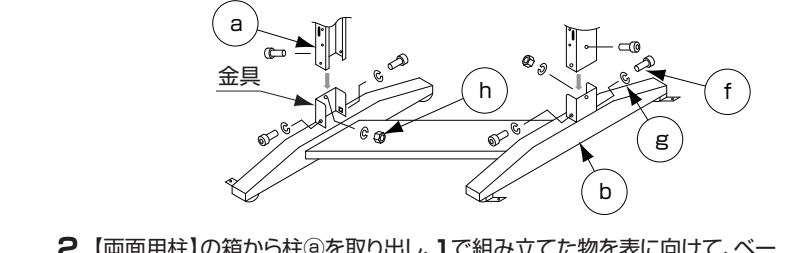
6 5で組み立てた物を表に向けて2枚の側板①の上にスライドさせて乗せ、側板①の穴と天枠⑥の穴を合わせて、外側からキャップボルト(長)⑦を差し込み、内側からSW⑧とナット⑥で仮止めして下さい(左右各3カ所)。

7 仮止めた全てのキャップボルト(長)⑦を、六角レンチ④でしっかり締め付けて下さい。

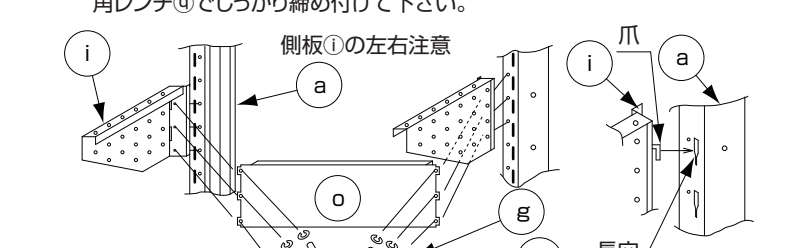
8 組み立てが終わると、アジャスター②で水平調節を行って下さい。そして、【両面ベースセット】の箱からナットアンカー④を取り出して床に打ち込み(下穴径10.5mm、深さ35mm)、ベース止金具③を利用して、床面に固定して下さい(左右各2カ所)。

均等静止荷重 50kg

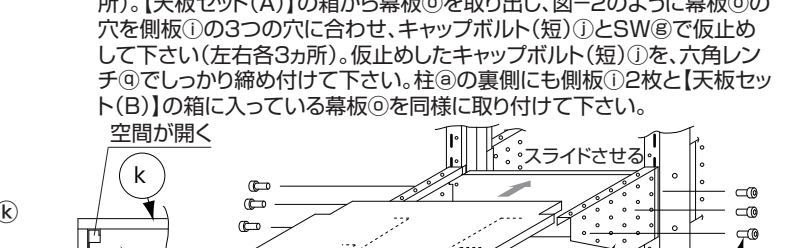
25mmメラミン天板	間口(W)×奥行(D)×高さ(H)mm	天板面高さ(mm)	25mmメラミン天板	間口(W)×奥行(D)×高さ(H)mm	天板面高さ(mm)
ULRT-WF900	900×1300×1885	700~900 P=50	ULRT-WF1200	1200×1300×1885	700~900 P=50



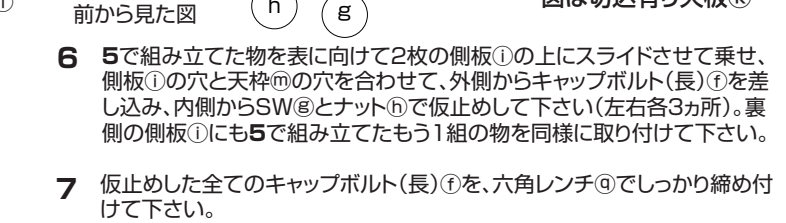
2 【両面用柱】の箱から柱②を取り出し、1で組み立てた物を表に向けて、ベース②の金具に柱②を図のように差し込み、前後からキャップボルト(長)⑦とSW⑧で仮止めして下さい(2カ所)。柱②の横の外側からキャップボルト(長)⑦を差し込み、内側からSW⑧とナット⑥で仮止めして下さい(1カ所)。反対側の柱②も同様に取り付けして下さい。仮止めたキャップボルト(長)⑦を、六角レンチ④でしっかり締め付けて下さい。



4 【側板セットA】の箱から側板①を取り出し、左右に注意して2枚の高さを合わせて図-1のように爪を柱②の長穴に引っ掛けて下さい(左右各2カ所)。



5 【天板セット(A)】の箱から天板(切込有り)⑤と天枠⑥を取り出し、天板(切込有り)⑤を裏返して置き、その上に天枠⑥を裏向けに置いて、天枠⑥の穴と天板⑤のナット位置を合わせ、キャップボルト(長)⑦とSW⑧で仮止めして下さい(6カ所)。



6 5で組み立てた物を表に向けて2枚の側板①の上にスライドさせて乗せ、側板①の穴と天枠⑥の穴を合わせて、外側からキャップボルト(長)⑦を差し込み、内側からSW⑧とナット⑥で仮止めして下さい(左右各3カ所)。



7 仮止めた全てのキャップボルト(長)⑦を、六角レンチ④でしっかり締め付けて下さい。

※2台以上、連結する場合は、裏面の「連結方法」をご覧ください。

LED照明器具付上棚 LE,CLE,ULRLE型

この度は、ユニオンスチールLED照明器具付上棚LE、CLE、ULRLE型をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品は、作業台に取付可能で、工具(六角レンチ)1本で組み立てられるシンプルな構造です。また、LED照明器具付ですので、作業の視認性が向上します。工場や研究室、学校等で末永くご使用いただけます。(※器具とLEDは一体型でLEDは交換できません)

安全上のご注意 必ずお守り下さい。

お使いになる人や、他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を次の要領で説明しています。



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

■ 表示荷重以上の荷重をかけないで下さい。

耐荷重の範囲を超える積載は、製品破損や積載物落下による怪我の原因になります。

■ 側面や正面から大きな力をかけないで下さい。

破損・変形・転倒し、怪我をする恐れがあります。

■ 不安定な場所に設置しないで下さい。

転倒したり、積載物が落下したりして、怪我をする恐れがあります。

■ LEDライトは100V交流で使用して下さい。

火災・感電の危険がありますので、定格電圧以外では使用しないで下さい。

■ LEDライトに異常を感じたら速やかに電源を切って下さい。

すぐに電源を切り、お買上げの販売店またはお客様相談室へお問い合わせ下さい。

■ 分解や改造はしないで下さい。

感電や火災や壊れる原因となり、事故や怪我に繋がります。また、LEDの交換は出来ません。

■ ネジ等の緩みの点検は定期的に行ってください。

ネジが緩んでくると、破損や事故の可能性が起きます。怪我防止も含め、定期的な点検して下さい。

■ LEDライトに水などの液体をかけたり、濡らしたりしないで下さい。

ショートや発熱により、火災・感電の原因となります。



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■ 屋外や水のかかる場所に設置せず、また、濡れた物を置かないで下さい。

サビが発生しやすくなり、強度等、品質が著しく低下する恐れがあります。

■ 組み立ては、この組立・取扱説明書に記載の組み立て手順に従ってください。

手順を誤ると、組立中に部品が外れたり倒れたりして、怪我をする恐れがあります。

■ LEDライトの点灯中・消灯直後は、照明器具に触れないで下さい。

火傷の原因になる場合があります。

■ LED光源を直視しないで下さい。

目の痛みの原因になる場合があります。

■ 長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

絶縁劣化、漏電などにより、火災の原因となることがあります。

■ 化学薬品や薬物を扱う作業には使用しないで下さい。

腐食・変質などにより、品質が著しく低下し、作業者の健康を害する恐れがあります。

■ 作業台以外には取り付けしないで下さい。

製品本来の用途以外では使用しないで下さい。想定外の事故の原因になります。

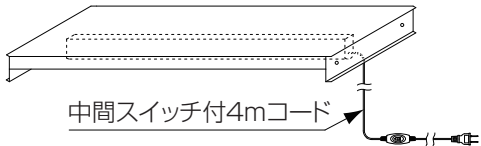




●本製品を第三者に譲渡、貸し出しする場合、必ずこの説明書を添えてお渡してください。

※この取扱い説明書は、紛失しないよう、大切に保管してください。

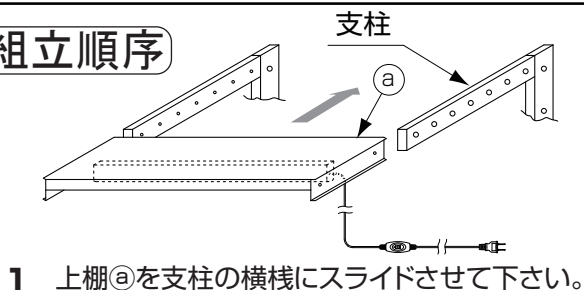
LE,CLE型 LED照明器具付上棚 組立説明図

組み立てる前に梱包内容がすべて揃っているか、ご確認ください。※万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせください。

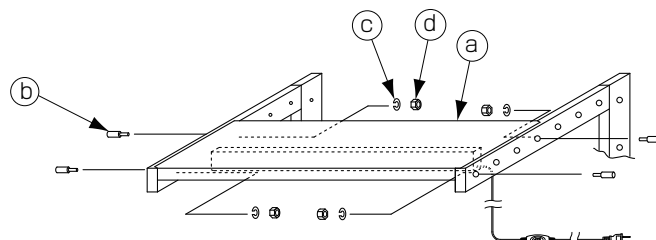
※組み立て時は、軍手や保護メガネなどの保護具を装着して組み立ててください。

部品明細 ㊸上棚(LED照明器具付)…1枚  中間スイッチ付4mコード	㊹段付ボルト…4本 (M6×36) 	㊺ナット(M6)…4個 	必要工具  六角レンチ(対辺5)
	㊻SW…4個 (スプリングワッシャー) 		

組立順序



1 上棚㊸を支柱の横棧にスライドさせて下さい。



2 任意のボルト穴に合わせ、外側から段付ボルト㊹を差し込み、内側からSW㊻とナット㊺で仮止めして下さい(4カ所)。仮止めが終わると、六角レンチ(対辺5)でしっかり締め付けて下さい。

仕様

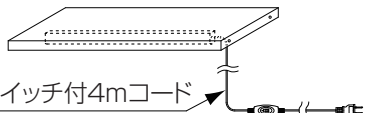
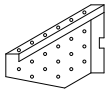


型番	間口(W)×奥行(D)×高さ(H)mm
LE-900T	875×200×54
LE-1200T	1175×200×54
LE-1500T	1475×200×54
LE-1800T	1775×200×54

型番	間口(W)×奥行(D)×高さ(H)mm
CLE-900T	775×200×54
CLE-1200T	1075×200×54
CLE-1500T	1375×200×54

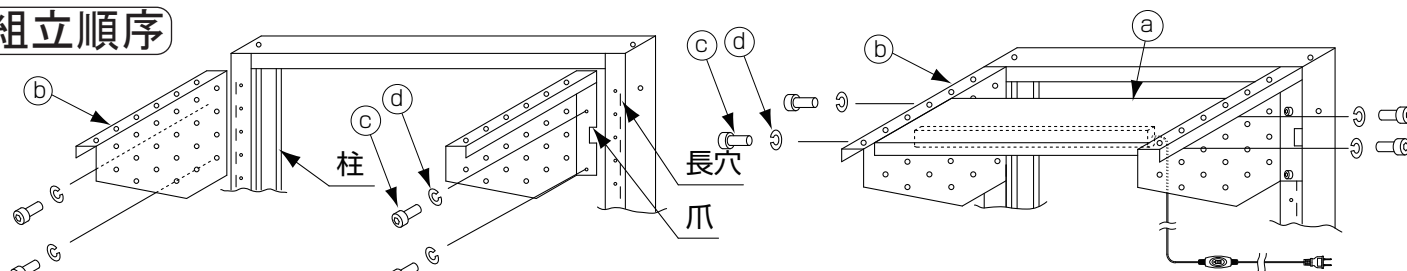
ULRLE型 LED照明器具付上棚 組立説明図

組み立てる前に梱包内容がすべて揃っているか、ご確認ください。※万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせください。

※組み立て時は、軍手や保護メガネなどの保護具を装着して組み立ててください。

部品明細 ㊸上棚(LED照明器具付)…1枚  中間スイッチ付4mコード	㊹上棚側板…左右各1枚 	㊺キャップボルト…8本 (M5×10) 	必要工具  六角レンチ(対辺4)
		㊻SW…8個 (スプリングワッシャー) 	

組立順序



1 ULRLE型本体の柱の長穴に、上棚側板㊹の爪を引っ掛け(左右注意)、SW㊻とキャップボルト㊺を差し込み、六角レンチ(対辺4)でしっかり締め付けて下さい(2カ所)。反対側の柱にも、高さを合わせて同様に上棚側板㊹を取り付けて下さい。

2 上棚㊸の穴を上棚側板㊹の穴に合わせ、外側からSW㊻とキャップボルト㊺を差し込み、六角レンチ(対辺4)でしっかり締め付けて下さい(4カ所)。

仕様

型番	間口(W)×奥行(D)×高さ(H)mm
ULRLE-900	900×350×125
ULRLE-1200	1200×350×125

製造元 **ユニオンスチール株式会社**
〒584-0022 富田林市中野町東2-5-36

電話 (0721)25-4603 番(代)
<http://www.unionsteel.co.jp>

日本製

レールハンガー

このたびは、ユニオンスチールのレールハンガーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。レールハンガーは色々な作業台に取付可能で、バランスやエアツールなどを吊り下げることができるため、作業の効率化を図ることができ、末永くご使用いただけます。

安全上のご注意 (必ずお守り下さい。)

●本製品を第三者に譲渡、貸し出す場合、必ずこの説明書を添えてお渡し下さい。
※この取扱説明書は紛失しないよう、大切に保管して下さい。

お使いになる人や、他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を次の要領で説明しています。



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を説明しています。

■ 側面や正面から大きな力をかけないで下さい。
破損・変形・転倒し、怪我をする恐れがあります。

■ 用途以外には使用しないで下さい。
用途以外に使用しますと、怪我の原因になります。



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■ 屋外や水のかかる場所に設置せず、また濡れた物を置かないで下さい。
サビが発生しやすくなり、強度等、品質が著しく低下する恐れがあります。








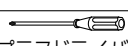
■ 組み立ては、この組立・取扱説明書に記載の組み立て手順に従って下さい。
手順を誤ると、組立中に部品が外れたり倒れたりして、怪我をする恐れがあります。

■ 切断、改造をしないで下さい。
不安定になり危険です。また、切断面のバリ等で怪我をする恐れがあります。

NLHT型 レールハンガー 組立説明図

組み立てる前に梱包内容が全て揃っているか、ご確認ください。*万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせ下さい。

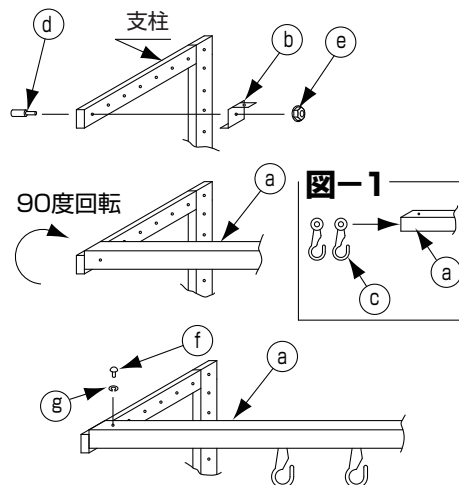
※組み立て時は、軍手や保護メガネなどの保護具を装着して組み立てて下さい。

部品明細		必要工具	
 ㊸ハンガーレール…1本	 ㊸ハンガーフック…2個	 ㊸フランジナット…2個 (M6)	 ㊸SW…2個 (スプリングワッシャー)
 ㊸レール取付金具…2個	 ㊸段付ボルト…2本 (M6×36)	 ㊸トラスネジ…2本 (M6×10)	 プラスドライバー
			六角レンチ (対辺5) TH型補強セットに同梱

TH型に取り付ける場合

※上棚を取り付ける場合は、先に上棚を取り付けてから以下の作業を行って下さい。

- 1 レール取付金具⑥を支柱の穴に合わせて、外側から段付ボルト②を差し込み、内側からフランジナット③をしっかり締め付けて下さい(1ヵ所)。もう一つのレール取付金具も同様に取付けて下さい。
- 2 図-1のようにハンガーレール①にハンガーフック④を入れ(2個)、ハンガーレール①を横にしてレール取付金具⑥にはめ込み、90度回転させて下さい。
- 3 ハンガーレール①の穴をレール取付金具⑥のナット位置に合わせて、上からトラスネジ⑤とSW⑦でしっかり締め付けて下さい(左右各1ヵ所)。



仕様

型番	寸法(mm)
NLHT-900LBT	W 871×D40×H63
NLHT-1200LBT	W1171×D40×H63

型番	寸法(mm)
NLHT-1500LBT	W1471×D40×H63
NLHT-1800LBT	W1771×D40×H63

ULHT-LBT型 レールハンガー 組立説明図

組み立てる前に梱包内容が全て揃っているか、ご確認ください。※万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせ下さい。

※組み立て時は、軍手や保護メガネなどの保護具を装着して組み立てて下さい。

部品明細

㊸ハンガーレール…1本

㊹ハンガーフック…2個

㊺キャップボルト…4本
(M5×10)

㊻ナット…4個
(M5)

㊼レール取付金具…2個

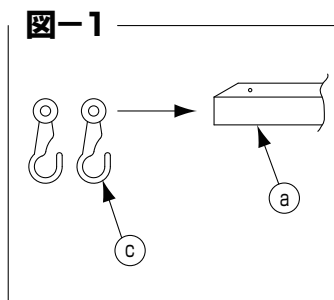
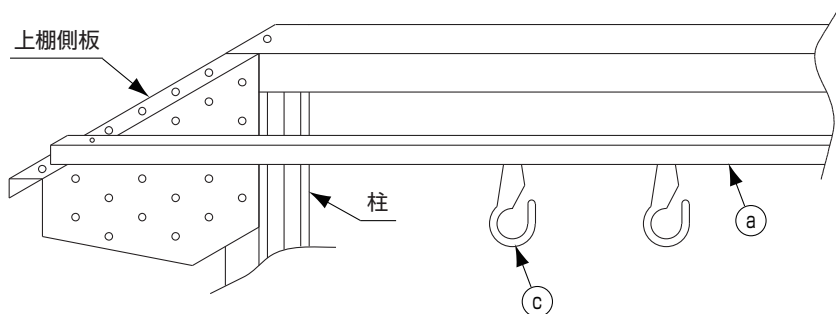
㊽SW…4個
(スプリングワッシャー)

必要工具

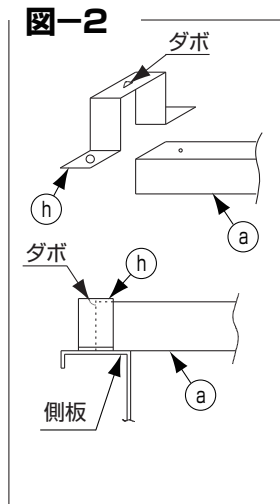
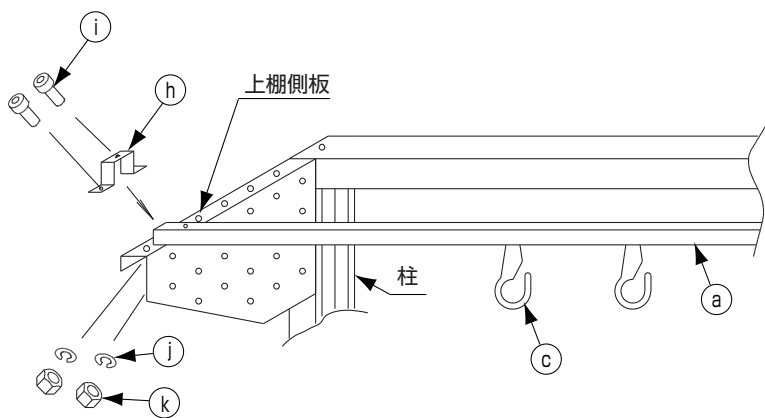
六角レンチ
(対辺4)ULRT型天板セットと同梱

ULRT型に取り付ける場合

1 図-1のようにハンガーレール㊸にハンガーフック㊹を入れ(2個)、ハンガーレール㊸を側板の上に乘せて下さい。



2 図-2のようにレール取付金具㊼を、ハンガーレール㊸の上にダボ方向に注意して乗せて(ダボでハンガーレール㊸を止める)、上棚側板の穴と合わせて上からキャップボルト㊺を差し込み、下からSW㊽とナット㊻で仮止めて下さい(2ヵ所)。もう1個のレール取付金具㊼も同様にに取り付けて下さい。



3 仮止めたキャップボルト㊺を、六角レンチでしっかり締め付けて下さい。

仕様

型番	寸法(mm)
ULHT-900LBT	W 880×D72×H35
ULHT-1200LBT	W1180×D72×H35

ULHT2109

製造元 **ユニオンスチール株式会社**
〒584-0022 富田林市中野町東2-5-36

電話 (0721)25-4603 番(代)
<http://www.unionsteel.co.jp>

日本製